

## 野菜経営管理

講師名	小田島 裕	実務経験等	農業改良普及センターでの普及指導員としての経験を活かし、野菜の生産・流通・消費動向・農業会計について理解し、卒業研究品目の経営計画の作成演習を行うことにより、野菜の経営管理に関する基本的な考え方を習得するための講義を担当している。
-----	-------	-------	---

科目区分	学科・経営科	必修・選択 (必修、自由)区分	履修 学年	開講 学期	標準 時間	単位数
農産園芸学科・専攻科目	農産園芸・野菜	必修	2	通年	30	2
使用教科書・副教材	金融機関のための農業ビジネスの基本と取引のポイント(経済法令研究会)、自作プリント等					
授業の目的	野菜の生産・流通・消費動向・農業会計について理解し、卒業研究品目の経営計画の作成演習を行うことにより、野菜の経営管理に関する基本的な考え方を習得する。					
授業の到達目標	野菜の生産・流通・消費動向・農業会計について理解し、卒業研究品目の経営計画を作成することができる。					

月日	学習項目	学 習 事 項	時間	授業 形式	備 考 (提出物等)
5月	農業業界の現状	農業所得、農業の環境変化、商品先物取引等について理解する。(5/14)	4	講義	レポート
7月	農業の基礎知識	農業委員会、認定農業者、環太平洋経済連携協定(TPP)、農産物の関税等について理解する。(7/2)	4	講義	レポート
8月	農産物の生産及び流通、農業に関わる組織	野菜等の生産及び流通構造、農業生産者・JAグループ・各種メーカー等について理解する。(8/20)	4	講義	レポート
9月	農業会計と税務、農業融資	農業会計や貸借対照表、キャッシュフロー計算書、農業融資の特徴、農業の6次産業化等について理解する。(9/10)	4	講義	レポート
11月	経営計画の作成	卒業研究品目における経営管理手法について理解を深め、経営計画(シミュレーション)を作成する。(11/16,17,20,24)	14	講義 演習	レポート
合計			30	時間	

成績評価の方式(評価項目、評価の観点、割合等)

提出物の内容、出席状況、受講態度により評価する。  
 レポート : 70%  
 平常点 : 30%(出席状況、受講態度)

履修に当たっての留意点等

授業は主に教科書と自作プリントにより行う。  
 受講に際しては、事前に教科書、参考資料などに目を通しておくこと。